

令和
5
年度

京都産業大学ギャラリー 公開講座のご案内

京都産業大学ギャラリーでは、全5回の公開講座（臨地講演・講演会）を担当学芸員ごとにさまざまなテーマで開催します。ぜひご参加ください。

各講座の開催概要・申込方法は、裏面をご確認ください。

臨地講演

（会場：京都各地 定員・参加費・申込受付期間は講演ごとに異なります）

鴨川

2023 10/8日
10:00~12:30

「鈴木康久教授と歩く京の河川—鴨川・高瀬川—」

特別講師 鈴木康久(京都産業大学現代社会学部教授) 講師 浅子里絵(ギャラリー学芸員)

鴨川は京都市内の南北を流れ、市民の憩いの場として親しまれている。しかし過去に幾度となく氾濫した川でもあり、『平家物語』には白河法皇の思うままにならない天下三不如意として「賀茂川の水、双六の賽、山法師」が挙げられた。鴨川は人々の暮らしに寄りそうとともに、時として牙を剥く存在であった。一方、高瀬川は江戸時代初期に角倉了以によって開削され、京都一伏見の水運に用いられた。高瀬川は鴨川高水敷を流れるみそぞり川から二条大橋の下流付近で取水している。今回は鴨川・高瀬川を歩き、京都の水文化を考えたい。また高瀬川一之船入南側に位置する非公開寺院 廣誠院の見学を行う。



嵐山

2023 12/9土
10:00~12:30

「京都・能楽ゆかりの地をめぐる」

講師 柳瀬美紀(ギャラリー学芸員)

京都と能楽の関わりは深く、室町時代に観阿弥・世阿弥親子が今熊野で演じたものが三代將軍・足利義満に認められ、以後絶大な支援を受け発展を遂げた。京都には能楽の演目の舞台となった場所や関連する史跡が多く存在する。今回は嵯峨野の地にスポットを当て、「嵐山」「野宮」「百万」などの演目の世界や歴史に触れながらゆかりの地を歩く。



大原

2024 3/9土
10:00~12:30

「魚山声明の地を訪ねる—京都・大原東部の僧坊—」

講師 浅子里絵(ギャラリー学芸員)

大原は魚山声明(大原声明)の聖地であり、勝林院・来迎院は声明の根本道場として創建された。この二院を中心として大原東部にはかつて四十九院の僧坊が存在したと伝わる。これらの寺院群は魚山大原寺として総称された。今回は勝林院・来迎院を中心に大原を歩き、大原東部の景観を考える。また実光院と非公開寺院である蓮成院を見学し、大原の歴史・仏教文化に触れたい。(※声明の奉納はございません)



講演会

（会場：キャンパスプラザ京都 各講座とも定員50名、参加費は無料）

キャンパスプラザ京都

2024 1/13土
13:30~15:00

「京都と宣教師 — 絵画資料が伝える都の南蛮文化 —」

講師 三木沙友理(ギャラリー学芸員)

16世紀中頃、スペイン人やポルトガル人ら南蛮人と呼ばれる人々が日本に来航し、南蛮貿易が始まった。南蛮貿易の活性化に伴い、京都にはルイス・フロイスをはじめとする多くの宣教師が訪れた。彼らが南蛮船で運んできたのはどのようなものであったのか、それらは京都でどのように根付き今に伝わるのかを、絵画を中心に様々な資料から考えていきたい。



狩野宗秀筆「都の南蛮寺図(一部)」(神戸市立博物館蔵)

キャンパスプラザ京都

2024 2/3土
13:30~15:00

「京都の寺社参詣 — 室町時代の公家の生活と信仰 —」

講師 川嶋美貴子(ギャラリー学芸員)

これまであまり注目されていない中世京都の寺社参詣について、『実隆公記』等の史料を通じて紹介する。寺社参詣は近世に隆盛したとされるが、京都ではそれ以前から盛んに行われていた。その目的は病氣平癒等の現世利己的なものから、誕生日や氏子の意識に基づくものまで様々で、多くの寺社が参詣者を受け入れるために工夫を凝らした時代でもあった。



「三条西実隆像紙形」(東京大学史料編纂所蔵)